

4. その他の令和2年度取組結果と令和3年度計画

1. 令和2年度取組結果

(1) 保護者支援の充実

○児童虐待予防研修（対象：府保健所・中核市及び市町村保健師）

【応用編】慢性疾患児、身体障がい児等ハイリスク児童及びその保護者に対する保健師児童虐待研修（体験研修を含む） 大阪発達総合療育センター委託（2日間）

参加：実人数 51人 述べ 80人

【基礎編】大阪府内保健師児童虐待予防研修 児童虐待防止協会委託（2日間）

参加：実人数 67人 述べ 111人

【スキルアップ編】児童虐待予防保健師等スキルアップ研修（1日間）

福祉部家庭支援課及び精神保健G（地域保健課）の協力により実施。

妊産婦メンタルヘルス、DV、家族再構築、子どものこころのケア、等。

対象：市町村・保健所保健師、精神保健相談担当者、子ども家庭センター児童福祉司、市町村児童家庭相談主管課担当者 等

参加：実人数 60人

○保健師母子研修 大阪母子センターと共同開催（1日間）。

未熟児対応、新生児聴覚検査、発達障害 等

対象：市町村・府保健所保健師

実人数 62人

○母子保健研修 小児慢性特定疾病（移行期医療、移行期支援等）（半日間）。

対象：市町村・府保健所保健師

実人数 48人

(2) 医療機関における支援の推進（産婦人科医師との連携事業）

○ハイリスク妊婦実態把握（大阪産婦人科医会に委託）

・未受診や飛び込みによる出産等実態調査

《未受診妊婦の定義》・全妊娠経過を通じて産婦人科受診回数が3回以下

・最終受診日から3か月以上受診がない妊婦

未受診や飛び込みによる出産等実態調査結果 (人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人数	148	254	307	285	262	260	228	191	208	224	192

《令和2年度調査結果》

【年齢】平均 26.3 歳、15歳から43歳まで幅広く分布。

21歳が最も多く16件、23歳、24歳が15件ずつ。

未成者は32人(16.6%)で、昨年より増加した。(R元年12.5%)

【未受診妊婦、パートナーの状況】

- ・未受診妊婦等の89.1%、パートナーの68.5%が無職か非正規雇用、学生

【母子健康手帳取得の有無】

- ・出生前取得が73.4%、出産後取得を合わせると96.8%(不明を除く)

【妊婦健診未受診理由】

- ・知識の欠如 25.7%、経済的問題 15.5%、妊娠に対する認識の甘さ 10.8% 等

2. 令和3年度取組計画

- ・児童虐待予防研修は、参加しやすく、かつ系統立てた学習ができるよう再構築。基礎編、応用編、スキルアップ編を統合して委託開催。
- ・ハイリスク妊婦の把握と支援を推進。産婦健康診査事業への取組、未受診や飛び込みによる出産等実態調査の継続、大阪産婦人科医会との連携による支援 等。